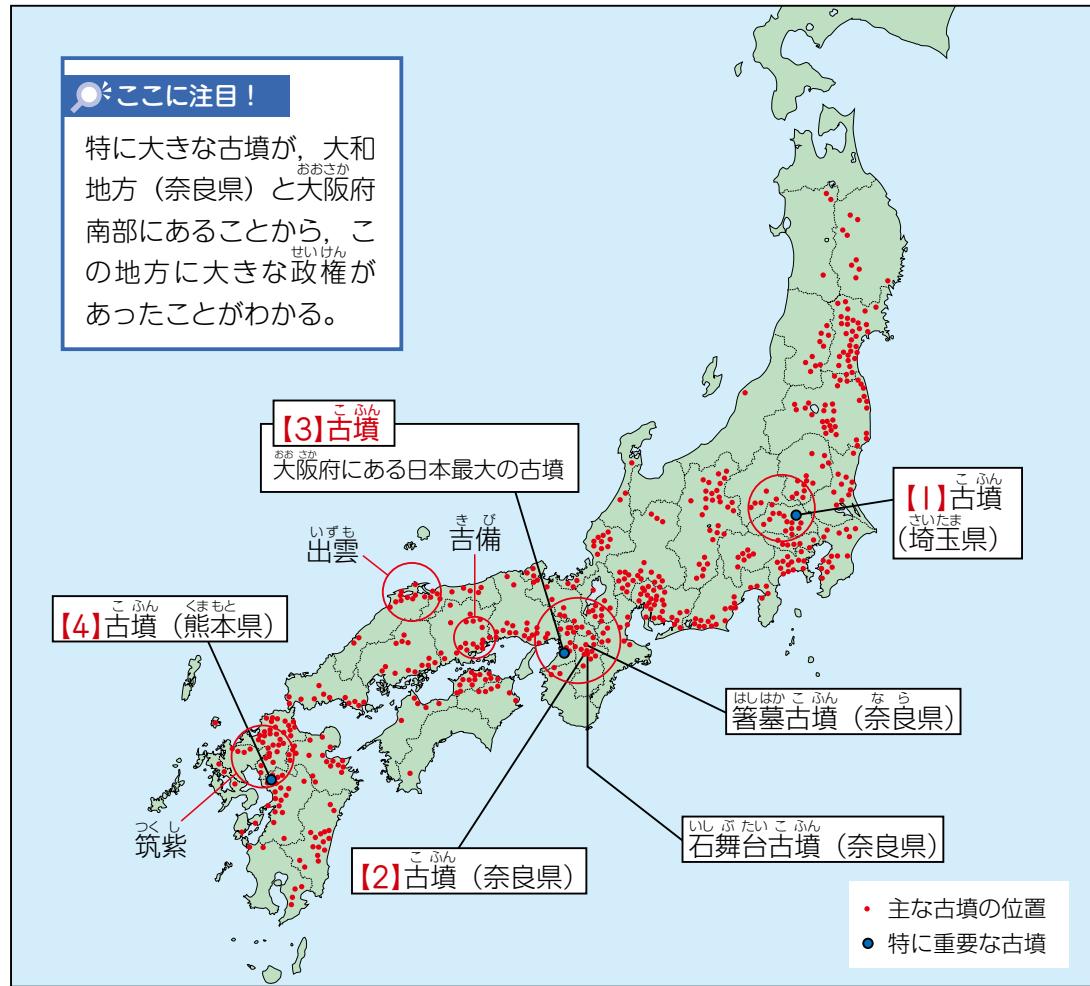


古墳時代

3世紀後半から、大和地方（奈良県）を中心に古墳がつくられ始め、やがて九州地方や東北地方まで広がりました。古墳時代の日本と、そのころの朝鮮半島について見ていきます。



主な古墳の分布

主な古墳

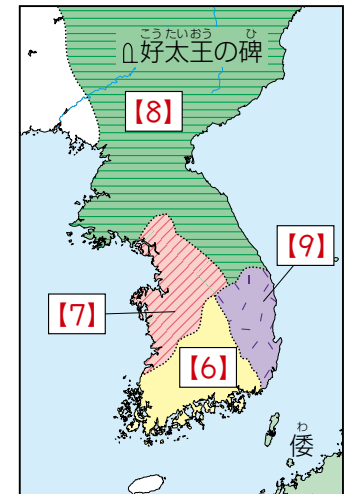
[3] 古墳 (大阪府堺市)	日本最大の古墳で、世界最大級の墓
[1] 古墳 (埼玉県)	「[5] 大王」ときざまれた鉄剣が出土
[4] 古墳 (熊本県)	「[5] 大王」ときざまれた鉄刀が出土
[2] 古墳 (奈良県)	あざやかな壁画が発見された

大和朝廷の支配

- 大和朝廷（ヤマト政権）の【5】大王の名がきざまれた鉄刀や鉄剣が九州地方や関東地方の古墳から出土しており、5世紀ごろには、大和朝廷の勢力が九州地方から関東地方までおよんでいたことがわかります。
- 吉備（岡山県）、出雲（島根県）、筑紫（福岡県）などにも古墳が多くあり、この地方にも力をもつ豪族がいたと考えられています。

大和朝廷の朝鮮半島への進出

- 4世紀中ごろ、大和朝廷は、進んだ技術や鉄を得るために、朝鮮半島南部の【6】地方に進出しました。
- 「好太王（広開土王）の碑」には、大和朝廷が【7】と手を組んで、【8】や【9】と戦ったものの、【8】に敗れたことが記されています。



4～5世紀ごろの朝鮮半島

渡来人と大陸の文化

- 古墳時代、【10】によって土木技術などのさまざまな技術が伝えられました。
- 6世紀中ごろに、【7】から仏教が公式に伝えられました。

ポイント 古墳の分布がもつ意味も考えよう！

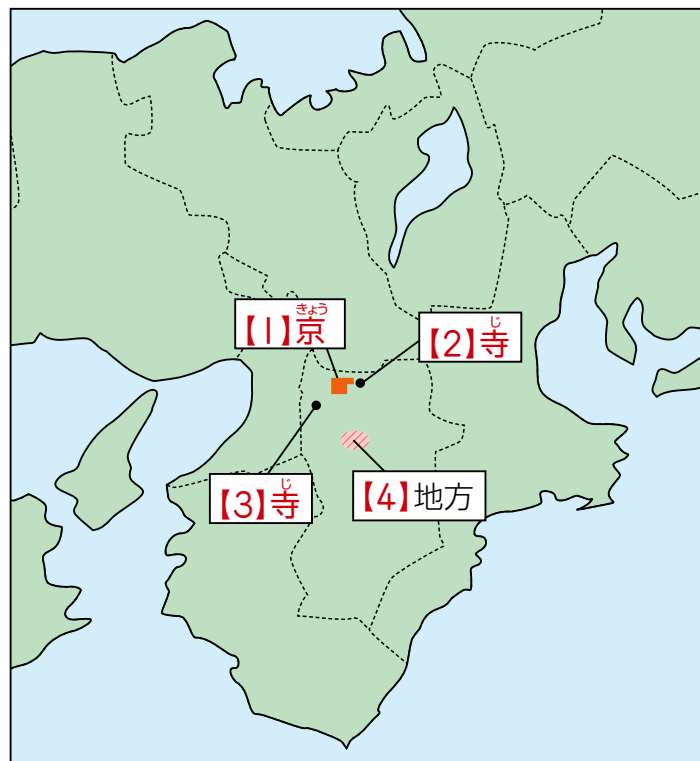
- 日本最大の古墳…大仙古墳（大阪府堺市）
- 江田船山古墳（熊本県）と稲荷山古墳（埼玉県）…出土品から、大和朝廷の支配が九州地方から関東地方までおよんでいたことがわかる

入試ではここが問われる！

- 古墳の分布や、鉄刀・鉄剣が出土した場所から、大和朝廷の支配領域について考える問題が見られます。
- 大仙古墳や4～5世紀ごろの朝鮮半島の国々は、場所を問われることが多くあります。くわしい位置まで確認しておきましょう。

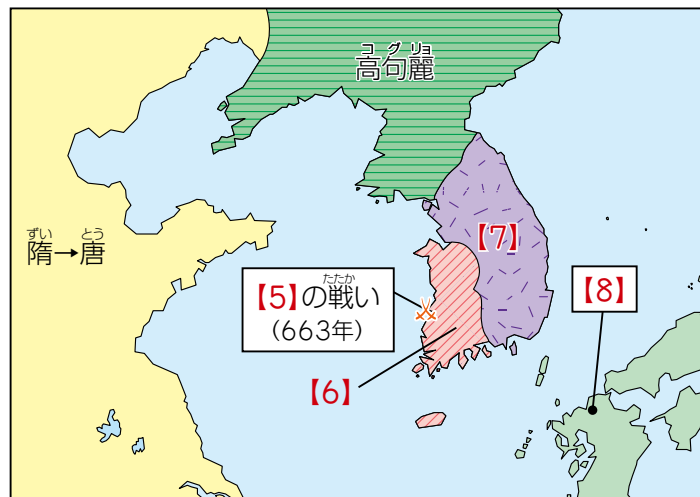


政治の中心が奈良県の飛鳥地方に置かれていた飛鳥時代から、平城京で政治が行われた奈良時代までを確認します。政治の中心となった場所や、都が置かれた場所に注目しましょう。



飛鳥地方と平城京

関連 ➡ 76 ページ 主な都と幕府の位置



6～7世紀の朝鮮半島

飛鳥時代

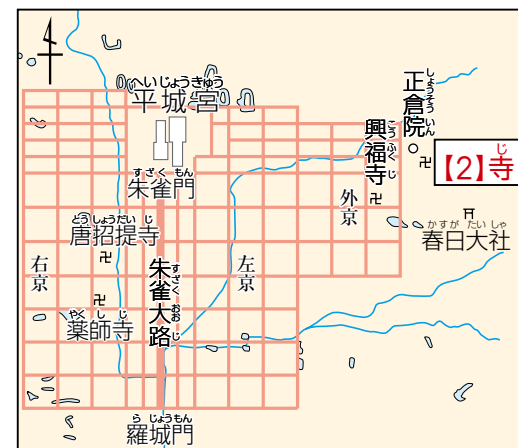
- 6世紀末から8世紀初めには、都は【4】地方（奈良県）に置かれていました。
- 推古天皇の摂政となった【9】は、天皇を中心とした国づくりを進めました。仏教を重んじ、【3】寺など多くの寺を建立しました。【3】寺は、「【3】地域の仏教建造物」として、世界遺産に登録されています。

7世紀の朝鮮半島

- 日本で【10】が政治を行っていた7世紀中ごろに、朝鮮半島で唐と【7】の連合軍が【6】をほろぼしました。日本は、【6】の再興を助けるために朝鮮半島へ大軍を送りましたが、663年の【5】の戦いで敗れました。

奈良時代

- 藤原京（奈良県）から、710年に【1】京（奈良県）に都が移されました。【1】京は、唐の【11】を手本につくられました。
- 【1】京北部の中央に天皇の住居と朝廷の役所がある平城宮（大内裏）が置けました。
- 【12】天皇は仏教の力で国を治めようとし、全国に国分寺と国分尼寺を建立しました。さらに、奈良の【2】寺に大仏をつくりました。



平城京の地図

ポイント 地図で場所を確かめよう！

- 飛鳥時代…政治の中心は飛鳥地方。聖徳太子が法隆寺を建立した。
- 奈良時代…平城京に都が移された。平城京の東に、東大寺がつけられた。

入試ではここが問われる！

- 平城京の位置だけでなく、法隆寺や東大寺などの寺社の場所が問われることも多くあります。奈良県のどのあたりにあるかをおさえておきましょう。
- 東大寺については、平城京との位置関係を問うものも見られます。くわしい位置まで確認しておきましょう。